

月刊 くちのえらぶ島の自然(9月号)

発行:えらぶ年寄り組
発行日:2013年10月10日
9月号

講演会・交流会

10月11日～10月14日まで、東京環境工科専門学校の学生さんが、自然観察の演習をするために来島されます。折角の機会ですので、先生方、学生さん達との講演会・交流会を企画しました。

後援会・交流会

日時:10月12日 19時半～

会場:公民館

演題:「エコツーリズム in えらぶ
—口永良部での展開を考える—」

講師:東京環境工科専門学校の校長先生、幸丸 政明氏

その後、学生さんによる、口永良部島での活動紹介と、短時間ですが、交流会も予定しています。

ウミガメ情報

今シーズンのウミガメ観察は、ほぼ終了です。ただ、アオウミガメの移植卵がまだ孵化していません。

ウミガメ上陸と産卵・孵化・脱出

月 日	観察の内容
9月30日 までに	<p>(1)アカウミガメ 上陸回数 64 回を確認。うち、産卵 24 回分を移植。 他に、子ガメ脱出痕から、19 の産卵巣ありと推定した。</p> <p>(2)アオウミガメ 上陸回数 4 回を確認した。産卵 1 回（孵化・帰海は、まだです）。</p> <p>(3)アカ・アオウミガメで 移植した卵、25 頭分（合計は 2838 個）、そのうち 21 頭の卵が孵化・帰海を確認。</p>

上陸回数は、足跡で確認したもの。

樹木・草木の情報

タカツランの種子を採取しました。成熟すると、サネが弾けて、中にあった種が煙のように飛び散ります。えらぶ年寄り組は、東北大学の研究者と屋久島まるごと保全協会・手塚賢至さん達がすすめるタカツランの保護・研究活動をボランティアで手伝っています。

タカツランの観察

月日	時間	観察場所	観察内容
10月4日	1500-1630	ミカン山登山道	2つの個体から、サネにかけていた採取用の袋を回収。1つの個体は、サネが弾け、種子が袋に溜まっていた。他の個体は、サネは弾けていなかった。袋を点検中にサネが個体から脱落。持ち帰る。
10月3日	1540-1640	採石場の奥	1つの個体から、サネにかけていた採取用の袋を回収。サネが弾け、種子が袋に溜まっていた。
9月13日		採石場の奥	新たに発見したタカツランに、種子採取のために袋掛け。

コウモリ情報

エラブオオコウモリの頭数計測、ペリット(エサの噛み残しを吐き出したもの)の調査を続けています。

エラブオオコウモリとペリットなど

月日	時間	観察場所	観察結果	備考
10月2日	18:20~20:00	学校ワシントンヤシ	飛来・通過 34 頭、うち 1 頭が、ヤシ#3 に止まった。 その後、20:00 までに、5 頭~6 頭がヤシ#9 に止まる。 曇り、月齢 26.6、日没 1804	目視、投光器で照射確認
9月28日	21:22	森家ガジュマル	1頭が森家ガジュマルに留まりガジュマルの実を採食、2頭旋回	目視
9月23日	18:45~19:15	学校ワシントンヤシ	飛来、滞在なし。 曇り、月齢 17.6、日没 1815	目視、投光器で照射確認
9月21日	21:00	森家ガジュマル	1頭が森家ガジュマルに留まる	目視
9月19日		神社下	神社下マルバグミのペリット観察。	サンプル採取
9月13日		神社下	神社下マルバグミのペリット観察。	目視